

2022年 第28回愛知県支部連合会総会 会議次第

2022. 2. 13

愛旅連ビル会議室

司会 富樫尚寛副幹事長

1. 開会の挨拶

小林壮行会長

2. 来賓の挨拶

日本将棋連盟東海普及連合会

中山則男事務局長

3. 2021年の活動のまとめ及び2022年の課題

福島隆夫幹事長

4. 2021年度会計報告及び2022年度予算（案）

梅村 徹会計

5. 役員体制について

6. 活動報告及び質疑・意見

7. 配付資料

- (1) 2021年の活動のまとめ及び2022年の課題
- (2) 2021年度会計報告及び2022年度予算（案）
- (3) 愛知県支部連合会役員体制
- (4) 愛知県支部連合会支部一覧
- (5) 愛知県支部連合会規程
- (6) 行事結果・予定表
- (7) 将棋関係資料（チラシ）

配付資料（1）

【2021年の活動のまとめ及び2022年の課題】

1 2021年の活動のまとめ

2021年1月31日に、第27回愛知県支部連合会総会が40名の参加により、愛旅連ビル3階会議室において開催されました。主な議題は「2020年の活動のまとめ及び2021年の課題」、「2020年度の会計報告及び2021年度予算」、「役員体制について（2021年2月～2023年2月）」でした。

また、従来は、支部対抗戦等の実施日に合わせて、また懇親を深める意味合いもあって、支部対抗戦等開催の夕方に懇親会を兼ねて実施してまいりました。そうした経緯がありますが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、総会のみで開催とさせていただきます。

（今回の第28回総会も同様の理由から、総会開催のみとさせていただきます。）

ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染という不測の事態により、様々な取組みに大きな影響を及ぼし、多くの将棋イベント、各種将棋大会、将棋教室、講座等が中止・延期・縮小となりました。

将棋イベント、大会については、主催者の対応方針が前提となりますので、中止・延期という状況もありますが、多くの大会では感染対策を講じた上で再開するケースも多くなりました。また、大会によってはオンライン対局を実施しているケースもあります。

具体的には、名古屋城こども王位戦については、令和2年度より、リアル大会とオンライン大会を実施し、両大会の優勝者が名古屋城での表彰式の際に対戦するという形式となっています。令和3年度も同様な形式で実施されています。また、将棋日本シリーズテーブルマークこども大会では、オンライン夏対局が令和3年8月14日（土）に実施され、1627名が参加しました。さらにオンライン冬対局（土曜対局）が令和3年12月18日（土）に実施され、1994名が参加、オンライン冬対局（日曜対局）が令和3年12月19日（日）に実施され、2017名が参加しました。

教室・例会等についても、感染防止対策を講じた上で適宜実施されてきており、オンラインによる指導というケースもみられます。

また、（公社）日本将棋連盟東京本部では、学校教育への将棋導入推進事業における学校への指導をオンラインで実施できるよう取り組んでいくこととしております。

このようなオンラインでの対局、指導等は今後も実施・拡充されていくことが想定され、新たな生活様式として定着していく方向性であると思われまます。

将棋の普及推進という面では、新型コロナウイルス感染状況は、引き続き厳しい状況ですが、感染対策を講じた上で、できる範囲で取組みを進めるとともに、またいつでも従来のような大会等を再開できるような態勢を講じていく必要があります。

そうした中、瀬戸市出身の藤井聡太四冠（竜王・王位・叡王・棋聖）の活躍は、将棋関係者のみならず、日本全国幅広い層にも大きな話題となりました。また、2021年6月以降、王位戦、叡王戦、竜王戦において、愛知県出身の藤井聡太四冠と豊島将之九段が数々の名勝負を繰り広げられ、地元愛知は大いに盛り上がりました。地元出身のお二人の活躍をますます期待したいと思います。

(1) 新しい支部の拡大 40支部を目標

2022年1月1日現在 38支部 約1200名(個人会員含む)

2021年 尾張北支部、弥富通子ども将棋教室支部発足

1995年に13支部で活動開始した愛知県支部連合会は、現在38支部、約1200名の会員に発展し

てきました。

これは 1996 年から 2 月の総会、10 月の支部長・将棋指導員合同会議、県連役員会毎月 1 回(1995 年 2 月から 2022 年 1 月まで現在 324 回)、県連会報の発行(1995 年 3 月から 2022 年 2 月現在 324 号)など組織を強化しつつ将棋の普及活動を続けてきた成果です。

(2) 岐阜・三重県支部連合会等との連携強化

平成 23 年 4 月に設立された東海普及連合会は、プロとアマチュアの共同普及組織としての役割を發揮して様々な取組を進めています。また岐阜・三重県支部連合会とともに支部会員の拡大に向けて取組みを継続しています。(平成 20 年 12 月から 2 カ月に 1 回定期的に会議を開催してきていますが、2020 年では新型コロナウイルスの状況もあり、会議を中止している状況もあります。)

また、2020 年 4 月 1 日には、服部慎一郎四段(中田章道七段門下:富山県出身)が、さらに 2020 年 12 月 1 日には山口稀良莉女流 2 級(中田章道七段門下:岐阜県出身)が誕生いたしました。

山口稀良莉女流 2 級は、山口仁子梨女流 2 級(2019 年 10 月 1 日に女流 2 級)の妹で、これで将棋界では 5 組目の姉妹女流棋士誕生となりました。(山口稀良莉女流 2 級は 2021 年 9 月に 1 級に昇級)

また、2022 年 2 月 1 日付けで、岩佐美帆子女流 2 級が誕生しました。師匠は愛知県一宮市出身の豊島将之九段で、豊島九段としては初めての弟子となります。

東海四県支部・支部会員数

(2021年9月1日現在)

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
支部数	39	10	7	20	632
支部会員数	1168	211	131	451	13964
個人会員数	36	5	8	10	609

東海四県将棋指導員数

(2021年9月1日現在)

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
棋道正師範	1	—	—	1	4
棋道師範	11	—	1	—	27
棋道指導員	20	6	5	1	100
将棋指導員	155	27	10	14	963
指導員補佐	11	5	1	3	67

(3) 将棋普及領域の拡大

児童館、支部教室に加えて寺院、学習塾(名進研)、ヤマダ電機、文化センター、幼稚園などで実施。新型コロナウイルス感染状況下では、中止・延期・規模縮小も相次ぎましたが、徐々に回復の状況も見られます。

(4) 東海研修会

日本将棋連盟では、将棋を通じて健全な少年少女の育成を目指すための機関、また女流棋士養成機関として全国で 6 か所(関東研修会、関西研修会、東海研修会、九州研修会、北海道研修会、東北研修会)開催しています。

東海研修会については、これまで東海普及連合会が独自の運営で開催してきましたが、2020年4月からは、日本将棋連盟の運営となりました。会場も名古屋・栄の山岳会館から、名古屋・大須の万松寺ビルに移動しました。毎月2回、第2・第4日曜に定例開催となりますので、小学生が多く参加するイベント・大会はこの日程と重複しないように設定することが望まれます。

(6) 栄将棋教室への協力 - 東海地域の将棋のメッカとしての存在

平成24年7月から水曜トーナメントを実施 20名程度の参加。

(火)・(金) = シニア・初心者対象指導 (土) 午前 = 子ども将棋教室

★2021年の活動についての報告(詳細は配付資料(6)参照)

	開催日	曜日	行事名	場所
1	1月9日	土	第3回熱田こども将棋大会	熱田神宮文化殿
2	1月16日	土	第4回名古屋城こども王位戦(リアル大会)	ポートメッセなごや
3	1月19日	日	第46回さなる杯小学生名人戦愛知県大会	さなる新栄校
4	1月31日	日	第27回愛知県支部連合会総会	愛旅連ビル会議室
5	2月7日	日	日本将棋連盟全国県連会長会議(オンライン)	日本将棋連盟
6	2月13日	土	将棋指導者講習会	愛旅連ビル会議室
7	2月21日	日	第4回名古屋城こども王位戦(決勝大会)	名古屋城本丸御殿
8	2月23日	火・祝	初・二・三段位獲得将棋大会	愛旅連ビル会議室
9	3月7日	日	第50回支部名人戦・支部対抗戦	名古屋港湾会館
10	3月21日	日	名古屋市児童館講師団会議	愛旅連ビル会議室
11	4月4日	日	日本将棋連盟指導員資格審査	桜華会館
12	4月11日	日	杉本賞ソーネこども将棋大会	ソーネおおぞね
13	5月4・5日	火・水	将棋名人戦第2局一斉解説会	万松寺
14	6月26日	土	豊田将棋フェスタ	豊田市文化会館
15	7月14日	日	第75回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
16	7月23日	金・祝	倉敷王将戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
17	8月1日	日	イオンモール天童杯争奪全国こども将棋王決定戦東海大会	イオンモール常滑
18	8月7日	土	名古屋城こども王位戦予選(リアル大会)	吹上ホール
19	10月3日	日	愛・三・岐こども将棋大会 一宮大会	一宮iビル
20	10月17日	日	第50回全国支部対抗戦(北陸・東海ブロック大会)	愛旅連ビル会議室
21	10月30日	日	JCOM 杯子こども将棋大会	名古屋国際会議場
22	11月3日	水・祝	テーブルマークこども東海大会	ポートメッセなごや

23	11月7日	日	愛・三・岐こども将棋大会 名古屋大会	名進研 名駅校
24	11月14日	日	名古屋城こども王位戦表彰式	名古屋城本丸御殿
25	12月12日	日	愛・三・岐こども将棋大会 つるまい大会	名古屋市公会堂

2 2022年度の課題（取組みの目標）

将棋の普及推進を図っていくことについての取組み、方針等については、従前と大きく変わるものではありません。しかしながら、一昨年からのコロナウイルス感染状況を十分考慮することが必要です。

感染防止対策を講じた上で、できる範囲で、無理のない取組みを進めていくことが必要です。

そうした中、オンラインでの対局、指導という形式も更に定着していくものと考えられます。一方、対面での大会、指導等というものはオンラインでは対応しきれない効果もあるのは事実です。

実施内容については新たな生活環境様式という視点も考慮しながら、従前のような大会等を実施できるような態勢を講じていく必要があります。

こどもたちへの将棋の普及という点では、県下のすべての市に支部があり、支部と将棋指導員のより細かなネットワークの形成とその中心に県支部連合会が存在する状況を創り出すことを大きな目標としていきたいと考えています。「県内どこに住んでいてもこどもが将棋を学べる環境の整備」を合言葉に普及を進めます。

また、公益社団法人となった日本将棋連盟の普及事業の前進のため、普及推進計画の策定や将棋指導員の資格取得の際の費用負担軽減を引き続き求めていきます。

平成23年4月に設立された東海普及連合会と連携して活動し、愛知県支部連合会の普及活動が全国モデルともなるよう将棋普及事業に寄与したいと考えています。

1. 普及活動の基本

(1) 東海普及連合会、岐阜県支部連合会、三重県支部連合会とともに新規支部の設置及び支部会員の拡大を図ります。(支部会員拡大推進委員会 毎月第三木曜日午後4時～)

(2) 岐阜・三重県支部連合会との連携強化を軸に中部各県とも交流を広げます。

(3) 普及指導員体制の充実と県支部連合会との連携強化を図ります。

2月13日(日)将棋指導者講習会 4月3日(日) 将棋指導員資格審査

(4) 児童館、学習塾、コミュニティセンター、カルチャーセンター等における将棋講座などへも講師の派遣を進めます。

(5) 栄将棋教室(こども将棋スクール等)及び東海研修会への協力

中山則男六段の直接指導等を実施、東海研修会との関係からも各支部、指導員のご協力をお願いします。また、東海研修会については、日本将棋連盟が主体となって、毎月2回、第2・第4日曜日に定例開催となりますので、小学生が多く参加するイベント・大会はこの日程と重複しないように設定することが望まれます。

2. 2022年の当面の行事・大会(詳細は配付資料(6)参照)

1月8日(土)第4回熱田こども将棋大会 熱田神宮文化殿

2月6日(日)支部名人戦・支部対抗戦・シニア名人戦愛知県大会 名古屋港湾会館

2月13日(日)午前:愛知県支部連合会総会 午後:指導者講習会

2月23日(水・祝)小学生将棋名人戦愛知県大会 名古屋港湾会館

4月3日(日)将棋指導員資格審査 桜華会館